



資料9

中国中小商業銀行の 経営環境変化を巡る動き

2019年12月3日

キャノングローバル戦略研究所

岡崎 久実子



キャノングローバル戦略研究所
The Canon Institute for Global Studies

- 2019年11月25日、中国人民銀行(中央銀行)は「中国金融安定報告2019」を公表。
- これまでの金融リスク防止・解消を目指す政策対応は一定の成果を挙げたと評価したうえで、当面は、①国際経済金融面の不安定要素の増加、②国内経済の下押し圧力増大等が見込まれる中、変化する金融リスクへの対処が重要と指摘。

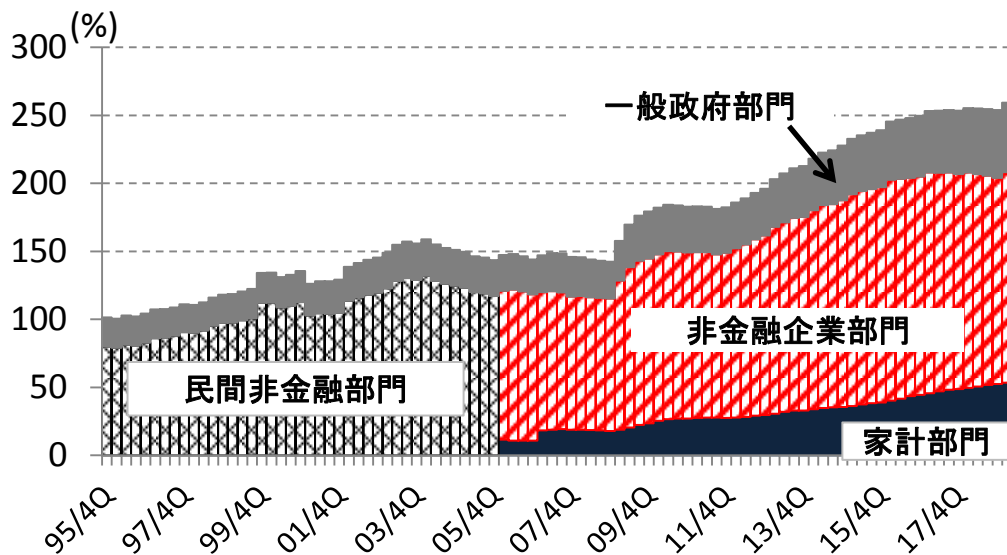
図表1:「中国金融安定報告2019」で掲げられた当面の政策課題等

過去1年余りの政策対応の成果	当面の重要政策課題
<ul style="list-style-type: none"> ① マクロ・レバレッジ比率の安定 ② 高リスク金融機関への秩序だった対処(包商銀行の公的管理) ③ 金融秩序の整備(インターネット金融の整頓、非合法資金調達活動の取り締まり等) ④ 金融市場動揺への対処(一部中小銀行の流動性不足の緩和等) ⑤ 監督制度の整備(資産管理に関する法整備、シャドーバンキングの抑制、金融持ち株会社に対する監督管理の強化等) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 穏健な金融政策の維持による適切な流動性管理 ② 実体経済の発展への更なるサポート ③ シャドーバンキングに関するリスクの解消 ④ 高リスク金融機関のリスク管理能力増強 ⑤ 金融秩序の整頓 ⑥ 金融市場の動揺防止 ⑦ 監督制度の改善 ⑧ 金融分野の改革開放の推進

資料出所: 中国人民銀行「中国金融安定報告2019」

- 中国非金融部門のレバレッジ比率(債務残高の対GDP比率)は、急上昇傾向に歯止めがかかり、民間非金融部門レバレッジ比率の傾向線からの乖離も、ほぼ収束。
- ただし、債務内容については、一段の改善が求められている。

図表2: 中国の制度部門別レバレッジ比率の推移



2019年3月末

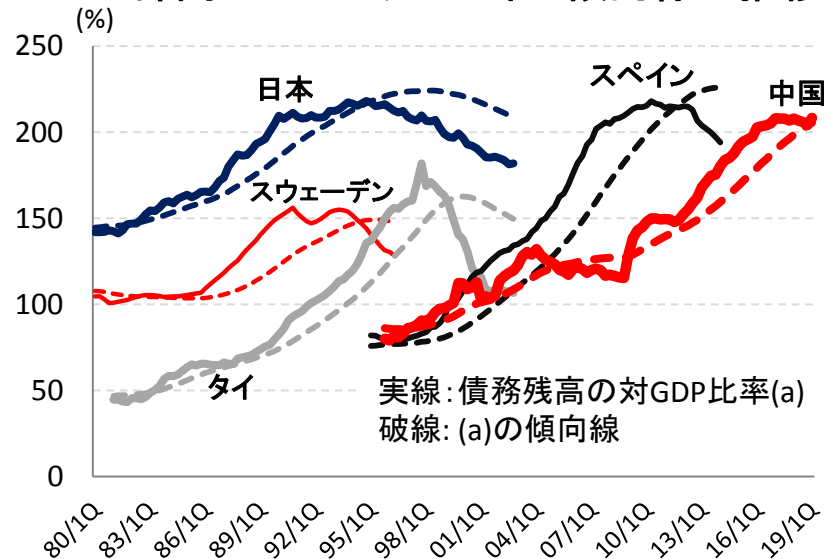
債務残高対GDP比率:

一般政府	51.1%
非金融企業	154.7%
家計	53.6%
合計	259.4%

債務残高:

一般政府	46.9兆元
非金融企業	141.8兆元
家計	49.1兆元
合計	237.7兆元

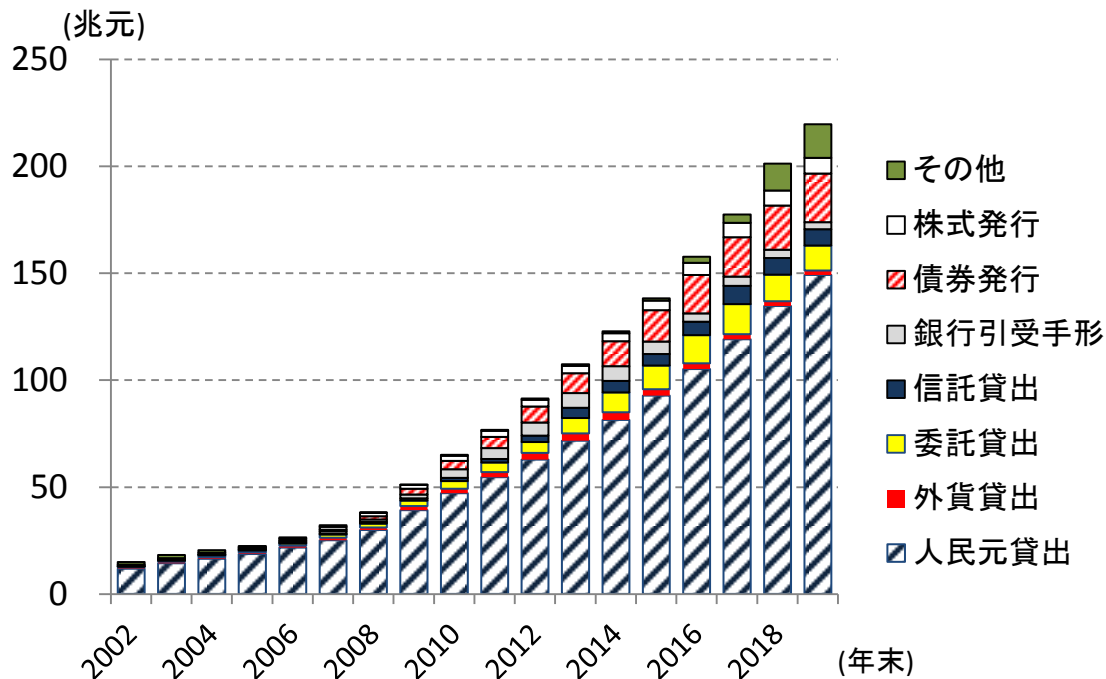
図表3: バブル崩壊経験国と中国の民間非金融部門のレバレッジ比率と傾向線の推移



資料出所: BIS credit-to-GDP gap statistics (Sept. 2019)

- 中国の企業・家計・一部地方政府による資金調達残高(「社会融資総量」)は、2018年に200兆元(約3,300兆円、同年GDPの約2.2倍)を突破。
- 近年、社債発行が増えつつあるものの、依然として中心は人民元貸出。

図表4: 中国・社会融資総量残高の推移



注: 直近値は、2019年10月末のデータ。
資料出所: CEIC China Premium Database

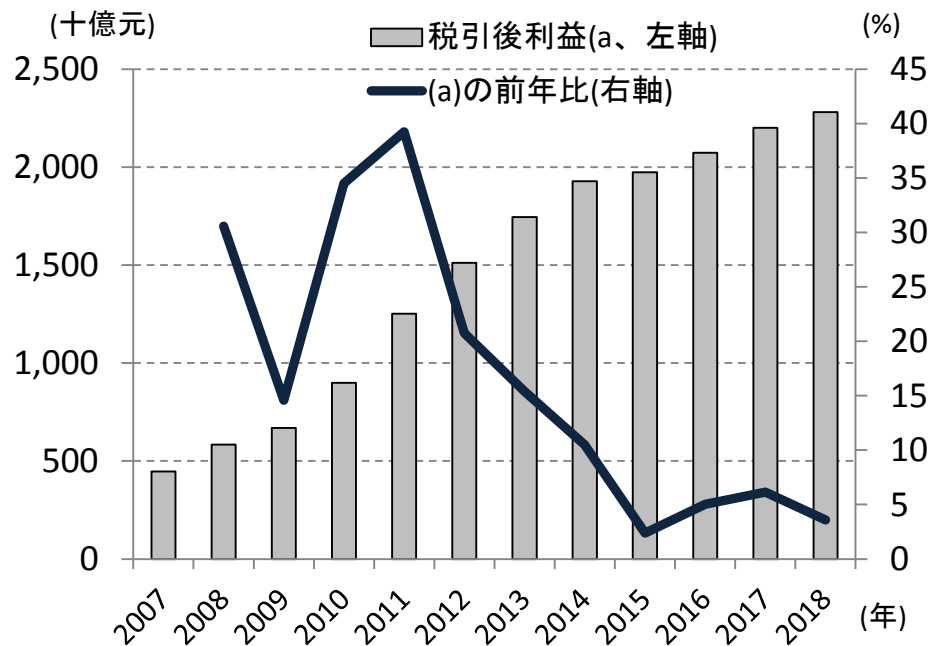
図表5: 中国・社会融資総量残高と構成比(19/10月末)

項目	残高 (兆元)	構成比 (%)
人民元貸出	149.1	67.9
外貨貸出	2.2	1.0
委託貸出	11.7	5.3
信託貸出	7.6	3.5
銀行引受手形	3.2	1.4
社債	22.8	10.4
株式	7.3	3.3
その他	15.7	7.2
うち地方政府債	(9.4)	(4.3)
合計	219.6	100

資料出所: 同左

- 中国銀行業金融機関の利益の伸びは、2015年以降、総じて鈍化傾向。足元はやや好転。
- ただし、ここにきて銀行によるばらつきが大きくなっている模様。経営体制の問題のほか、経営拠点地域の経済情勢も影響か？

図表6: 中国銀行業金融機関の収益動向



資料出所: CEIC China Premium Database

図表7: 中国主要上場行の税引前利益の前年比 (%)

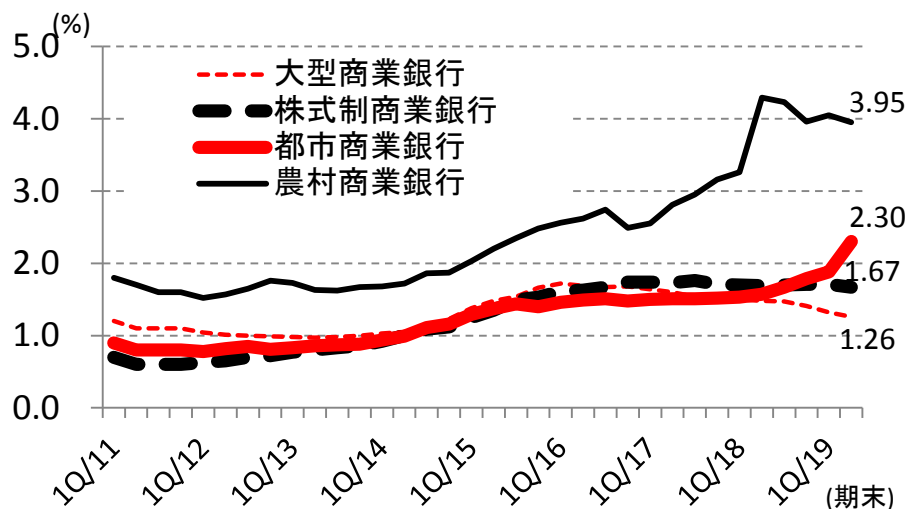
	主要上場行		
	14行	大型商銀5行	株式制商銀9行
98-02年平均	7.7	10.2	2.9
03-07年平均	68.0	73.9	49.1
08-12年平均	21.7	19.5	31.0
13-17年平均	4.6	3.7	7.4
15年	1.2	0.1	4.4
16年	-0.2	-1.4	3.2
17年	1.7	1.4	2.6
18年	3.3	3.1	3.9
19年上期	6.3	5.4	8.8

注: 04年以前の株式制商業銀行は浙商銀行を除く8行ベース。

資料出所: 各行財務報告

- 中国商業銀行の不良債権比率は、全体としては抑制されているものの、地方ベースの中小銀行の中には、不良債権の重荷が深刻化している機関もある模様。
- 中国人民銀行は、農村中小金融機関の経営状況をとくに注視。

図表8: 中国商業銀行の業態別不良債権比率の推移



資料出所: CEIC China Premium Database

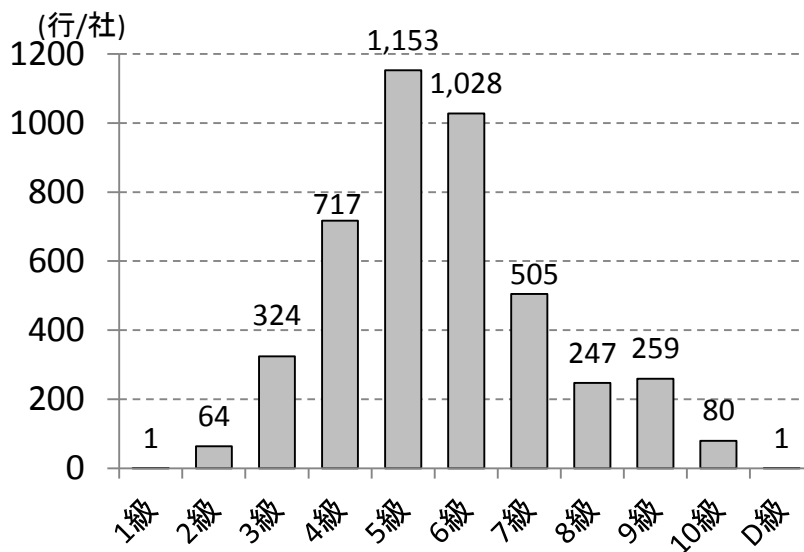
図表9: 地方ベース銀行の不良債権比率(19/6月末、%)

	業態全体	上場行	非上場行
都市商業銀行	(134行) 2.30	(24行) 1.71	2.99
農村商業銀行	(1,427行) 3.95	(10行) 1.38	4.26

注: 業態全体の銀行数は、2018年末時点のもの(報道ベース)。

資料出所: CEIC China Premium Database及び上場銀行財務報告

図表10: 中国人民銀行による銀行業金融機関査定(18/4Q、4,379行/社対象)

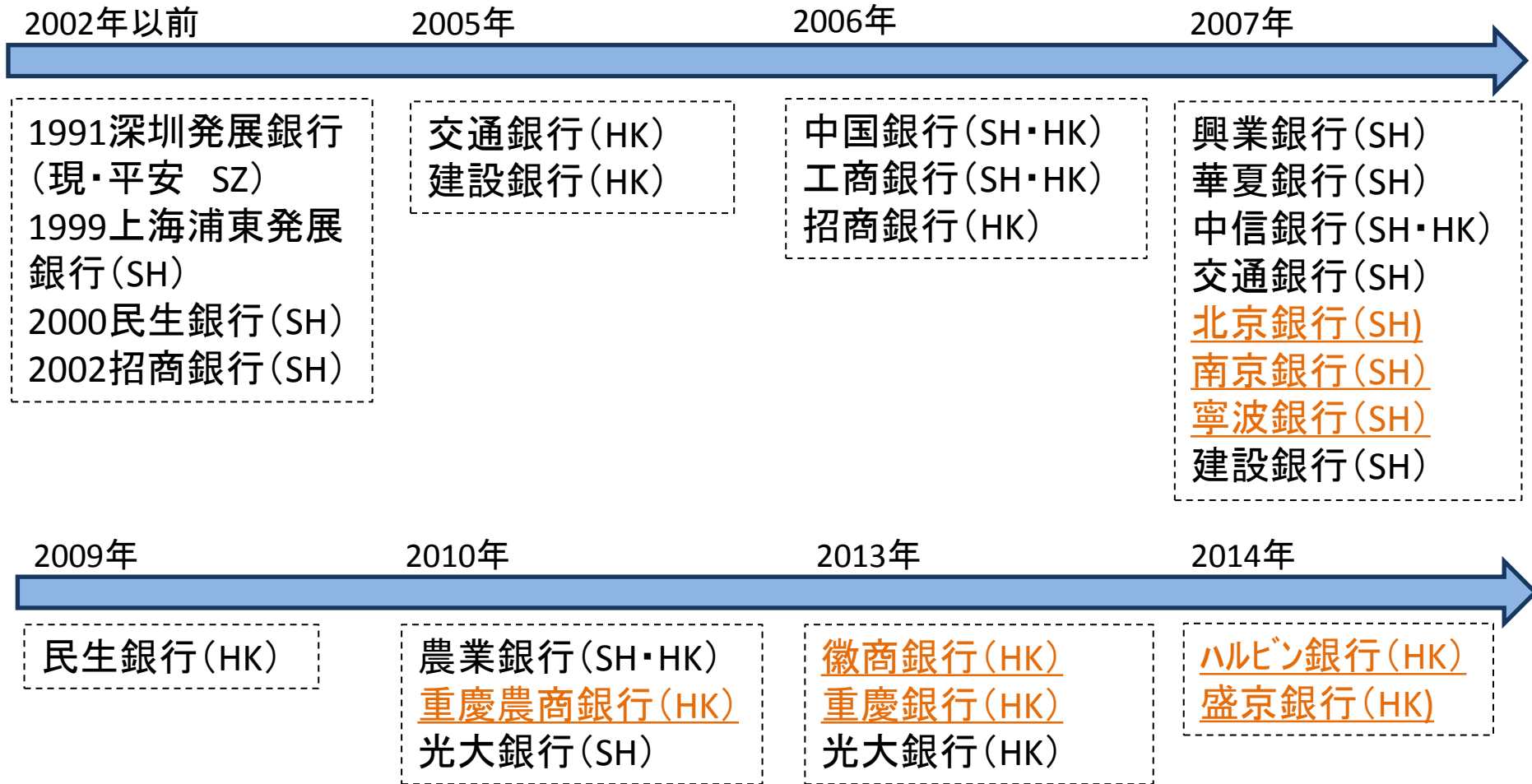


注: 中国人民銀行は、8~10級を「高リスク金融機関」と定義し、その経営状況をとくに注視。同行は2018年第4四半期の査定では、中小金融機関(ノンバンクを含む)586行/社を当該ランクに査定しているが、農村金融機関が多いと解説。

資料出所: 中国人民銀行「中国金融安定報告2019」

➤ 中国ではWTO加盟後、優良行の株式上場を促す動きがスタート。近年、地方銀行によるIPOも奨励されている。

図表11-1: 中国の商業銀行のIPO実施動向

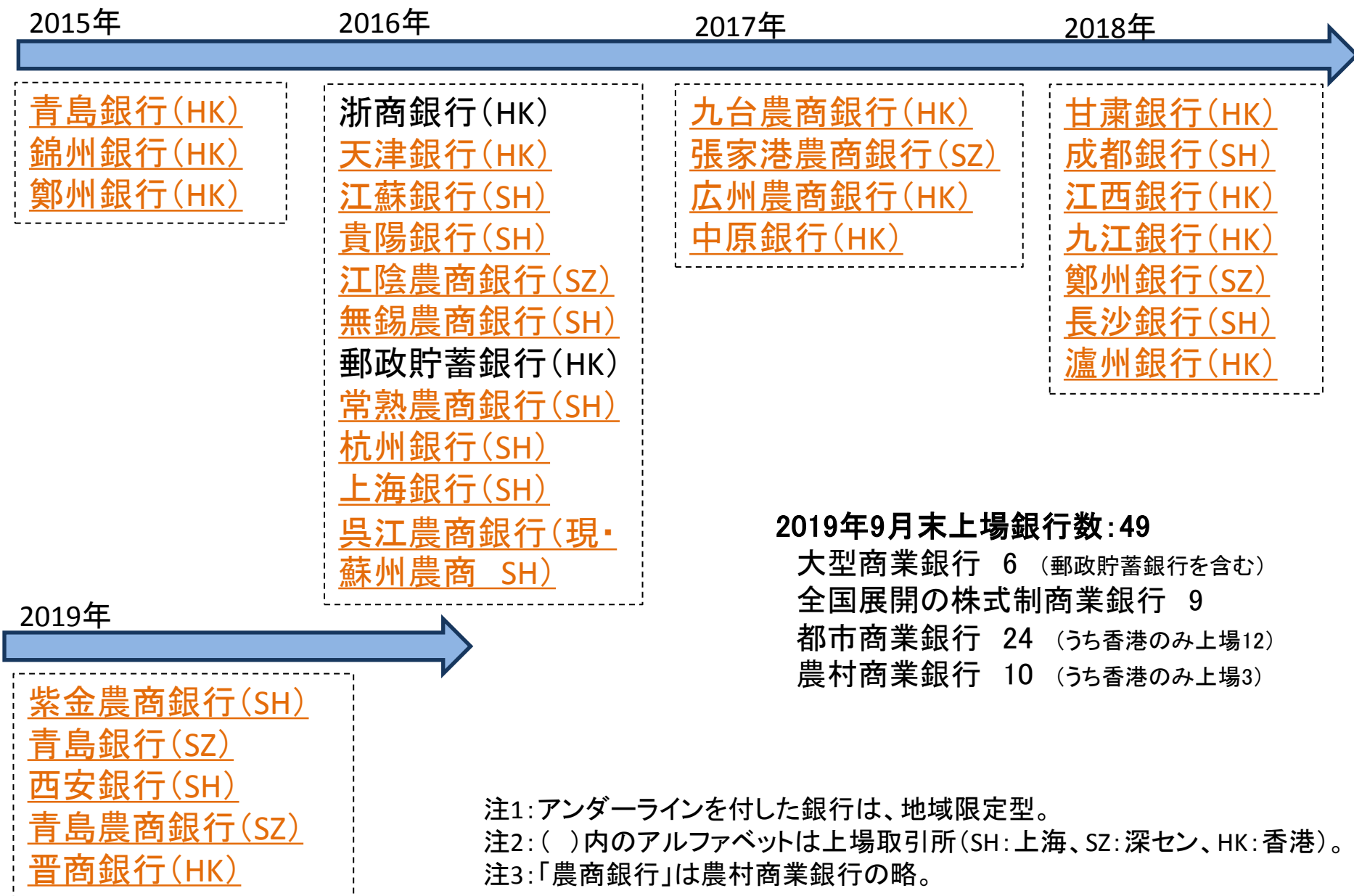


注1: アンダーラインを付した銀行は、地域限定型。

注2: ()内のアルファベットは上場取引所 (SH: 上海、SZ: 深セン、HK: 香港)。

注3: 「農商銀行」は農村商業銀行の略。

図表11-2: 中国の商業銀行のIPO実施動向(続)



2019年9月末上場銀行数:49

- 大型商業銀行 6 (郵政貯蓄銀行を含む)
- 全国展開の株式制商業銀行 9
- 都市商業銀行 24 (うち香港のみ上場12)
- 農村商業銀行 10 (うち香港のみ上場3)

注1:アンダーラインを付した銀行は、地域限定型。

注2:()内のアルファベットは上場取引所(SH:上海、SZ:深セン、HK:香港)。

注3:「農商銀行」は農村商業銀行の略。

- 10月21日の記者会見において、中国銀行保険監督管理委員会の幹部は、高リスク金融機関の監督について、「リストアップ制管理(中国語では“名单制管理”)」を適用すると説明。
- 一部中小銀行では、増資の動き。
- 「監督当局は総資産残高1,000億元以下の小規模金融機関の経営統合を急いでいる」との報道も。

リストアップ制管理: 監督部門(中央政府機関と地方部局)が管下の金融機関のリスク状況を数値化し(高、中、低に区分け)、リスクの程度に応じた監督・モニタリングを行うというシステム。

リスク解消の方法等については、各金融機関の特性や体力、リスクの原因等によって、柔軟に選択することを認める方針。

図表12: 中国中規模銀行の救済事例

銀行名(区分) (本店所在地)	総資産残高 (億元)	問題の発端	対処方針
包商銀行(都市商銀) (内モンゴル自治区)	(16年末) 4,316	大株主による資金流用	19/5/24日、公的管理に移管。日常業務は中国建設銀行に委託。
錦州銀行(都市商銀) (遼寧省)	(19/6月末) 8,255	資金繰り難による理財商品等の違約	19/7/28日、工銀投資、信達投資、中国長城資産が新規出資。
恒豊銀行(株式制商銀) (山東省)	(18/9月末) 10,500	経営陣による不正行為	19/10/8日、監督当局が本店の移転(煙台市→済南市)と増資を認可(中央政府系ファンドによる出資のルーマーあり)。